

2023年4月16日

ドッジボールでスポーツの素晴らしさを身に着けよう

—練習は不可能を可能にする—



日本ユネスコ協会 評議員
開倫ユネスコ協会 会長
林 明夫

1. <はじめに>

3年にも及ぶコロナ禍の厳しい状況下、「2023年開倫ユネスコ杯ドッジボール選手権」にご参加頂き、ありがとうございます。心から感謝いたします。



2. 皆様は、ドッジボールをはじめ、スポーツの素晴らしさは、何だとお考えですか。私は、次の3つであると考えます。

(1)第1は、スポーツを通して「練習は不可能を可能にする」ということを実感できることです。ドッジボールをはじめ、すべてのスポーツは練習すればするほど、スキル（技術）がどんどん向上するからです。

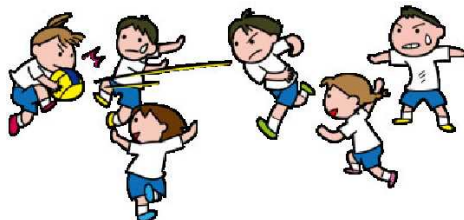
(2)第2は、「フェア・プレーの精神」です。ドッジボールをはじめ、すべてのスポーツには、ルールがあり、ルールの中でのプレーが求められます。また、ルールを守るだけでなく、卑しいプレーをしないことが求められます。ルールの中でプレーをすること、卑しいプレーをしないことを「フェア・プレーの精神」と考えます。ドッジボールを通して、「フェア・プレーの精神」を身に付けてくださいね。

(3)第3は、「よき友」です。ドッジボールをはじめ、スポーツに打ち込むことで、同じスポーツに打ち込む、「よき友」ができます。

3. (1)皆様が、今日、この大会で、思い切りプレーができるのは、これまで、皆様を育ててくださった、ご家族の皆様、指導してくださったコーチ・監督の皆様はじめ、周りの人達のお陰です。感謝の気持ちを大切に、今日一日、練習の成果を存分に発揮し、元気にプレーをしてください。

(2)また、大会にご参加くださいました選手・保護者・監督・コーチの皆様、そして、審判員や関係各位の皆様、観戦の皆様に、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございます。今後とも、ご指導ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

(3)ドッジボールで、コロナ禍に負けない、心と体を鍛え、また、友情を育み、明るく、楽しく、元気よく過ごしてまいりましょう。ありがとうございました。



開倫塾 塾長
宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
作新学院大学 客員教授